



# EU

## 1 農・畜産業の概況

EUは、27の加盟国（2011年時点）全体で1億7160万ヘクタール（2011年）の農用地面積を有し、農業経営体数は1175万7000戸（2010年）、1戸当たりの農用地面積は、14.6ヘクタール（2010年）である（表1）。

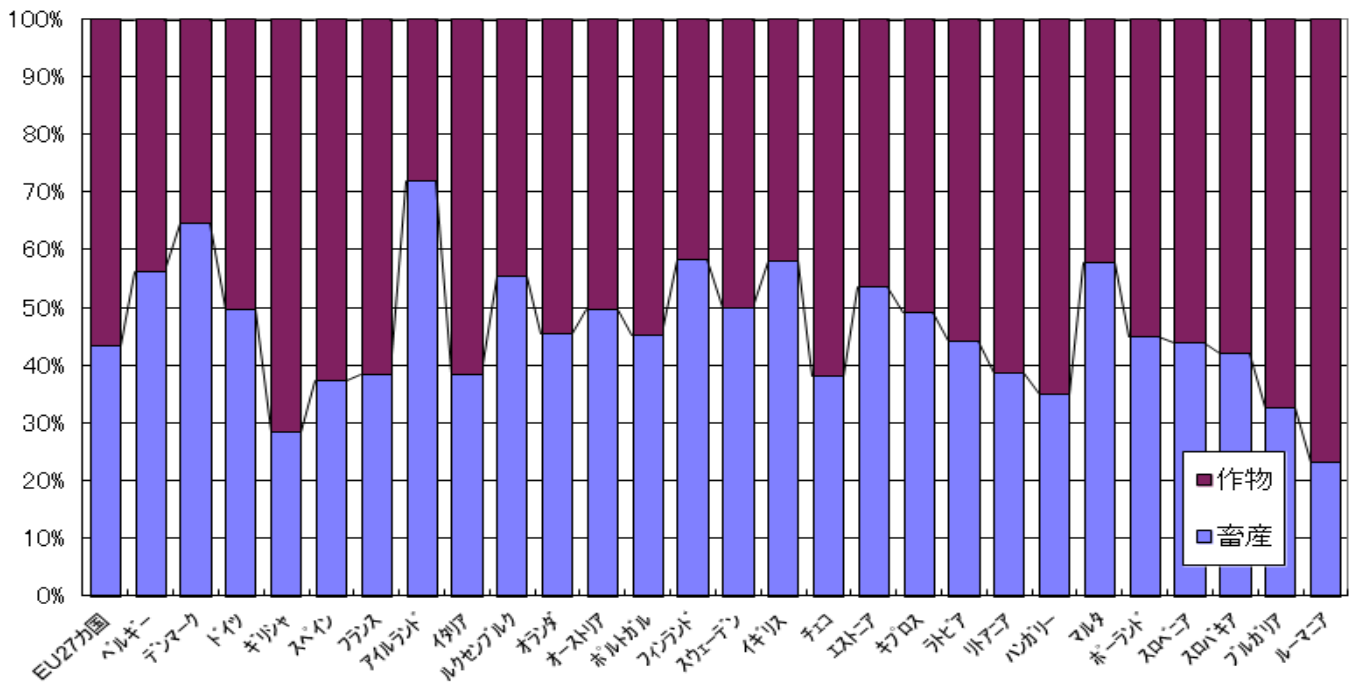
2011年のGDPのうち、農業生産の占める割合は1.2%と前年と同レベルであった。また、同年の労働人口に占める農業従事者の割合は5.3%であり、ほかの先進国と同様にその割合は高くない。

一方で2009年のEUの食料自給率（カロリーベース）は、フランスで121%、ドイツで93%、英国で65%

となっており、日本の40%と比べて高く維持されている。

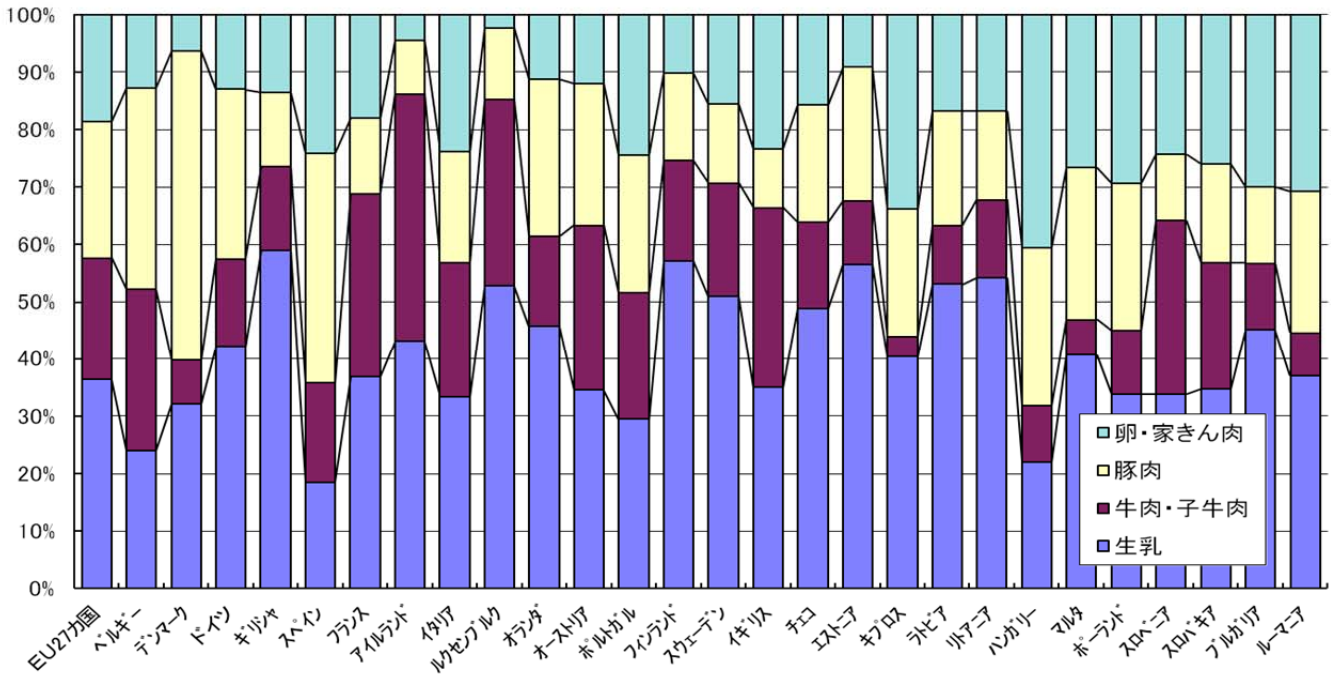
2011年の農業生産額は、3812億2300万ユーロと前年を9.3%上回った。このうち、約41%に相当する1576億8500万ユーロを畜産が占めており、EU農業の主要部門となっている（図1）。畜産の内訳を見ると、生乳生産額が530億6400万ユーロ（農業全体の約14%）、牛肉・子牛肉生産額が310億300万ユーロ（同約8%）、豚肉生産額が346億5300万ユーロ（同約9%）、卵・家きん生産額が271億1500万ユーロ（同約7%）である（図2）。

図1 農業生産額に占める畜産のシェア(2011年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2012」

図2 畜産生産額に占める畜種別のシェア(2011年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – statistical and information2012」

表1 主要農業経済指標

国名/区分	農用地面積	農業労働人口	農業経営体数	1戸当たり農用地面積	農業生産額
	(千ヘクタール)	(千人)	(千戸)	(ヘクタール)	(百万ユーロ)
	2011	2010	2010	2010	2011
ベルギー	1,358	64	42	32.3	7,748
デンマーク	2,647	73	41	64.6	10,429
ドイツ	16,704	658	298	56.1	52,149
ギリシャ	3,478	513	717	4.9	10,310
スペイン	23,753	755	967	24.6	40,197
フランス	27,837	753	507	54.9	70,186
アイルランド	4,991	83	140	35.7	6,632
イタリア	12,856	965	1,616	8.0	45,980
ルクセンブルク	131	-	2	65.5	325
オランダ	1,872	226	71	26.4	24,958
オーストリア	2,878	202	149	19.3	6,792
ポルトガル	3,668	520	304	12.1	6,187
フィンランド	2,291	114	63	36.4	4,187
スウェーデン	3,066	92	70	43.8	5,376
イギリス	15,686	408	183	85.7	25,728
EU15カ国	123,216	5,353	5,170	22.0	317,184
チェコ	3,484	152	23	151.5	4,733
エストニア	941	26	19	49.5	751
キプロス	118	18	38	3.1	673
ラトビア	1,796	75	83	21.6	897
リトアニア	2,743	116	200	13.7	2,438
ハンガリー	4,686	291	534	8.8	7,588
マルタ	11	5	12	0.9	121
ポーランド	14,447	2,036	1,499	9.6	22,600
スロベニア	483	79	74	6.5	1,232
スロバキア	1,896	71	24	79.0	2,175
EU25カ国	153,821	8,295	7,676	915.0	360,392
ブルガリア	4,476	677	357	12.5	4,033
ルーマニア	13,306	2,962	3,724	3.6	16,799
EU27カ国	171,603	11,935	11,757	14.6	381,223

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

2011年のEUの農業概況は、農業所得（実質）が3.7パーセント増加したことに特徴付けられる。この増加率は、2010年の10%増に次いで高い増加率となった。これは、生産物の価格が高水準であったことによるところが大きい。

2011年の品目別の生産、価格の動向を見ると、作物の生産量は、前年比7.5%増、価格は同5.7%高となった。価格の上昇は、穀物が18.3%高、油糧種子が15.1%高、飼料作物が12.8%高となり野菜の同9.7%安を除いてほとんどの作物で上昇した。

畜産物では、生産者価格が前年比6.6%高、生産量が同1.0%増となり畜産物産出額は同7.7%高となっ

た。価格の上昇は、牛乳で同9.2%高、鶏肉で同8.5%高、牛肉で同8.0%高、羊およびヤギで同5.2%高、豚肉で同4.4%高となった。一方、卵は同4.7%安となった。

農業投入額（実質）は、前年比9.2%増となり、主に飼料価格で同16.9%増、肥料価格で同14.7%増、光熱費で同11.9%増となった。農業産出額および農業投入額の両方が増加したが、EU全体の農業者1人当たりの農業所得（実質）は、同6.5%増となった。しかし、国別にみると、ベルギーの同22.5%減からルーマニアの同43.7%増と加盟国間で状況が大きく異なった。

## 2 畜産の動向

### （1）酪農・乳業

2011年のEU（加盟27カ国）の生乳生産量は、全世界（約7億3936万トン：FAO資料）の約21%を占めた。これは、単一国としては世界最大となる米国の生産量の約1.7倍に相当する。EUは、牛乳・乳製品の自給率が109%で純輸出国となり、国際乳製品市場に大きな影響力を持っている。

2011年のEUの世界の乳製品貿易量に占める割合は、チーズが46%（USDA資料）となり、依然として世界最大である。バターや脱脂粉乳は、それぞれ17%、34%となっており、生産量の増加によりその割合はいずれも前年より大きくなっている。

2011年は世界需要が強かったことから前年に引き続き市場は好調であった。供給が前年比約2%増加したにもかかわらず、乳製品価格は2011年を通して堅調に推移し、これに伴いEUの乳価も増加した。

生乳生産は、前年比約2%増であったが、チーズ生産は、同0.2%増とわずかな増加、バター生産は同2%増となった。域内消費量は、前年と同程度であった。

### ① 主要な政策

#### ア 生乳生産割当（クォータ）制度

EUは、国ごとに生乳生産割当枠（クォータ）を定め、クォータを超過した場合、100キログラム当たり27.83ユーロの課徴金が課せられる。また、加盟国間でのクォータの譲渡は認められていない。ただし、加盟国内の農家間でクォータの売却や貸し借りや、国による買い上げと再配分などができるため、国内での生産調整は可能となっている。

なお、この制度は、2008年11月に合意した「ヘルスチェック」（共通農業政策（CAP）の中間検証作業）に基づき、2015年3月をもって廃止することが決定している。

## イ 乳製品の介入買い入れ

EUは、バターおよび脱脂粉乳の介入買い入れを通じた乳製品の価格支持により、間接的な生乳価格の支持をしている。介入価格は、2003年のCAP改革に基づいて、バターは2004年以降4年間で25%、脱脂粉乳は同3年間で15%、それぞれ段階的に引き下げられたが、2008年9月以降さらに約3%引き下げられている。バターは、市場価格が介入価格（100キログラム当たり246.39ユーロ）の90%を下回った場合、加盟国の介入機関により、入札方式で一定規格のものを買い入れる。なお、CAP改革により、介入買入限度数量を新たに設定し、2004年に7万トン、その後毎年1万トンずつ削減し、2008年に3万トンまで削減された。

また、脱脂粉乳は、3月1日～8月31日の間、加盟国の介入機関が介入価格（100キログラム当たり169.80ユーロ）で一定規格のものを買い入れる。なお、当該年の介入買入数量が10万9000トンを超えた場合、介入買い入れは一旦停止され、市場動向などを勘案しながら入札による買い入れが実施できることとなっている。

## ウ 輸出補助金

EUは、乳製品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、チーズ、バター、脱脂粉乳などの輸出に対して輸出補助金を交付している。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに販売・輸送コストなどを勘案して設定される。2011年現在は、すべての乳製品で輸出補助金がゼロとなっている。

## エ 域内消費の促進

その他、乳製品に係る補助として、牛乳の学校給食用消費に対する補助などが行われている。

## ② 生乳の生産動向

## ア 酪農経営体数

EUの酪農経営体数は、大規模化による効率性の向上などを背景として小規模層を中心に減少傾向にあり、2010年には170万戸となった。2007年と比較すると、3年間で31.5%と大幅に減少している（表2、図3）。

表2 酪農経営体数、乳用経産牛飼養頭数および1戸当たり飼養頭数の推移

(単位:千戸、千頭、頭/戸)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
酪農経営体数	2,485	-	-	1,700	-	-
経産牛飼養頭数	24,176	24,248	23,700	23,072	23,072	0.0
1戸当たり経産牛飼養頭数	10	-	-	13.7	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

注1：飼養頭数は、12月現在のもの

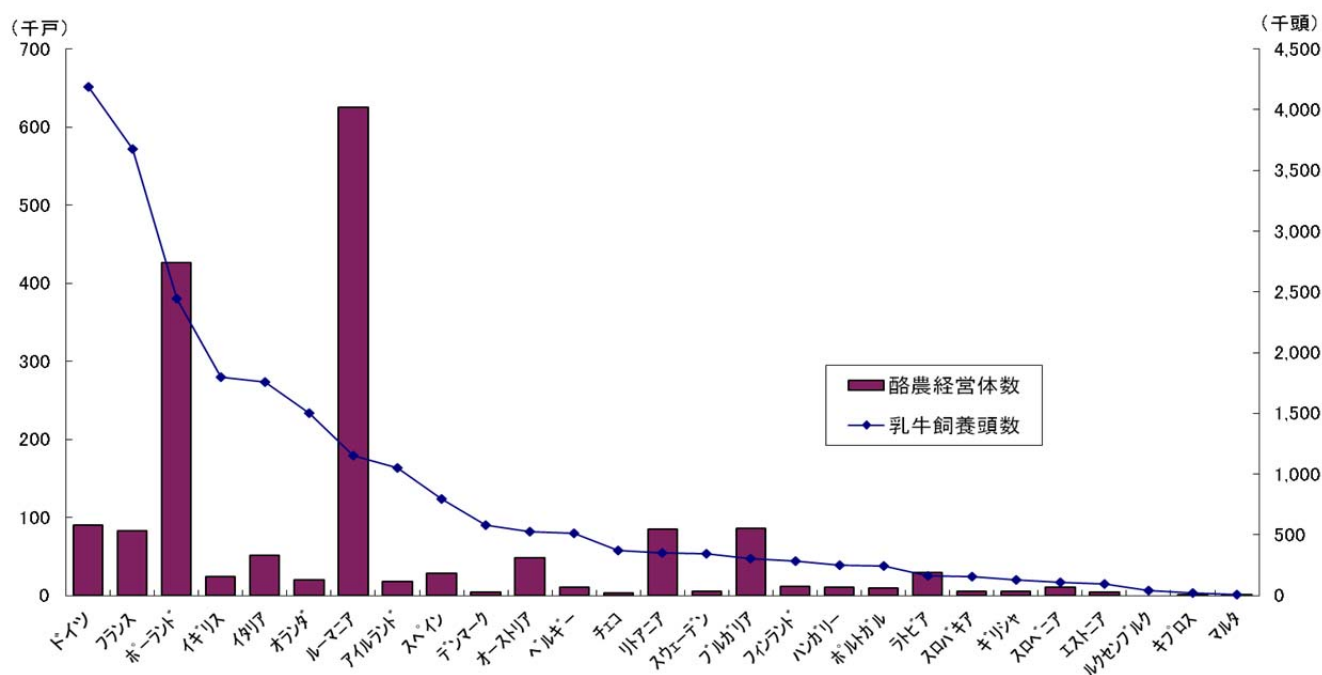
注2：2007年まではEU25カ国のデータ、2008年からはEU27カ国のデータ

### イ 飼養頭数

2011年12月現在の乳用経産牛飼養頭数は、2307万頭と前年と同水準になり、減少傾向が止まった。これは、2015年の生乳クォータ制度の廃止を前に生乳生産の増産傾向となっているためである。

2010年の1戸当たりの乳用経産牛飼養頭数は13.7頭で、2007年の9.8頭から増加した。最も飼養規模の大きいデンマークが109頭であるのに対し、2007年に加盟したブルガリア、ルーマニアはそれぞれ2.9頭、1.6頭であり、加盟国間の差が広がっている。

図3 酪農経営体数(2010年)および乳牛飼養頭数(2011年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

### ウ 経産牛1頭当たり乳量

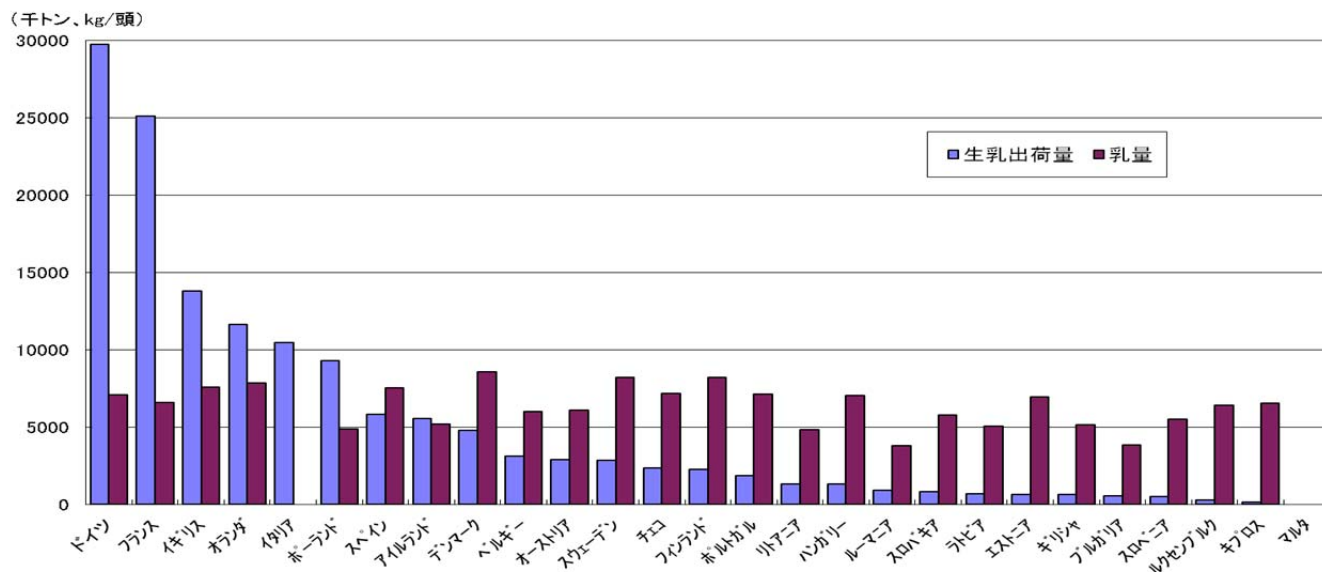
2010年の経産牛1頭当たり乳量は、前年比5.1%増の6,360キログラムとなった(注1)。ただし、加盟国間での差は大きく、デンマークの8,569キログラム(前年比2.2%増)、フィンランドの8,226キログラム(同2.5%増)に対し、2007年に加盟したブルガリア、ルーマニアはそれぞれ3,855キログラム(同94.3%増)、3,778キログラム(同15.2%増)と大きな開きがある。

### エ 生乳出荷量

2011年の生乳出荷量は、イタリアとマルタを除き1億3,940万トンとなった。国別では、ドイツ、フランスで2,000万トンを超え、イギリス、オランダ、イタリアでも1,000万トンを超えており、これら5カ国でEU全体の生産量の約7割を占める(図4)。

注1：イタリアおよびマルタを除く25カ国平均

図4 生乳生産量(2011年)および経産牛1頭当たり乳量(2010年)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

### ③ 牛乳・乳製品の需給動向

#### ア 飲用乳

2011年の飲用乳生産量(販売量)は3278万5000トンとなり、EU27の1人当たりの年間飲用乳(乳飲料、ヨーグルトなどを含む)消費量は、平均で64.8キログラムとほぼ前年並みとなっている(表3)。

表3 1人当たり飲用乳消費量の推移

(単位:kg/人、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	52.8	53.9	53.2	53.8	51.6	▲ 3.0
ブルガリア	6.7	8.0	8.1	29.7	-	-
チェコ	51.7	52.9	60.0	57.8	53.0	▲ 11.7
デンマーク	90.2	90.6	90.1	92.0	88.6	▲ 1.7
ドイツ	51.9	53.1	52.2	52.3	52.8	1.1
ギリシャ	66.6	70.7	68.1	69.7	69.1	1.5
エストニア	116.4	120.6	117.9	110.8	110.8	▲ 6.0
スペイン	-	89.2	90.5	90.3	86.9	▲ 4.0
フランス	66.6	66.6	65.2	66.0	65.1	▲ 0.2
アイルランド	145.0	142.2	139.0	139.1	141.1	1.5
イタリア	61.7	58.6	57.9	55.5	54.6	▲ 5.7
ハンガリー	-	53.8	58.9	51.1	48.6	▲ 17.5
オランダ	53.0	52.0	51.0	50.0	49.0	▲ 3.9
オーストリア	78.7	80.4	79.7	78.7	80.7	1.3
ポーランド	-	44.0	43.8	43.7	42.4	▲ 3.2
ポルトガル	92.2	88.1	84.2	82.3	-	-
ルーマニア	113.0	105.3	100.1	-	-	-
スロバキア	-	48.3	49.7	54.9	52.2	5.0
フィンランド	-	132.1	135.7	132.5	131.1	▲ 3.4
スウェーデン	105.6	103.6	99.6	97.1	93.0	▲ 6.6
英国	-	103.4	104.4	107.7	109.3	4.7
EU27カ国 <sup>(2)</sup>	66.0	65.3	64.9	64.9	64.8	▲ 0.2

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注1：加工製品のみ

注2：2011年は暫定値

#### イ バター

EUはインドに次ぐ世界第2位のバター生産地域で、世界の生産量(2011年約850万トン:USDA資料)の約24%を占める。

2011年のバター生産量(バターオイルを含む)は、前年比3.2%増の207万トンとなった。これは、生乳生産量が増加したことや、域内需要の高まりによる。

2011年のEU域外輸出量は、前年比19.2%減の12万6000トンとなった。主な輸出先は、ロシアやイラン、モロッコなどである。一方、域外からの輸入量は4万7000トンであった(表4、図5)。

バター消費量は、健康への関心の高まりにより90年代から減少傾向にあったが、2011年の年間消費量は、前年並みの1人当たり3.9キログラムとなった。国別では、フランス(7.7キログラム)、ドイツ(6.1キログラム)での消費が多いが、マーガリンやデリースプレッドの消費が多いデンマーク(1.8キログラム)などの北欧各国や、オリーブ油など植物油の消費が多いイタリア(2.3キログラム)などでは少なくなっている(表5)。



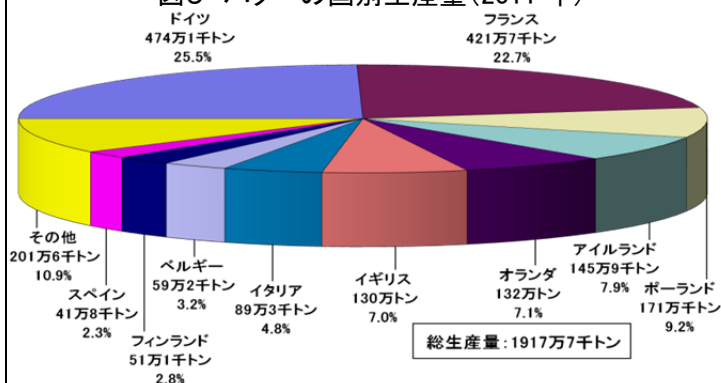
表4 バター需給の推移

(単位:千トン、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
生産量	2,105	2,085	2,040	2,005	2,070	3.2
うち乳業工場	2,010	1,997	1,954	1,921	1,980	3.1
うち農家	95	88	86	84	90	7.1
輸入量	91	64	62	40	47	17.5
輸出量	212	154	149	156	126	▲19.2
在庫(12月末)	100	150	135	60	85	41.7
域内消費量	1,994	1,944	1,968	1,964	1,966	0.1
うち補助金なし	1,840	1,944	1,968	1,964	1,966	0.1
補助金つき	154	0	0	0	0	-
1人当たり消費量(kg)	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」  
 注1：生産量には、バターオイルを含む  
 注2：2011年は暫定値、2012年は推定値

図5 バターの国別生産量(2011年)



資料：AMI「MARKTBILANZ-MILCH 2013」  
 注1：EU27カ国  
 注2：バターオイルを除く

表5 1人当たりバター消費量の推移

(単位:kg/人、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	6.8	5.5	5.7	-	-	-
ブルガリア	0.4	0.3	0.1	0.5	-	-
チェコ	4.9	4.8	5.0	4.9	4.9	0.0
デンマーク	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
ドイツ	6.4	6.2	5.8	5.8	6.1	5.2
ギリシャ	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0
エストニア	3.5	4.3	5.5	4.1	4.1	0.0
スペイン	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
フランス	7.9	7.9	7.9	7.8	7.7	▲1.3
アイルランド	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	1.2
イタリア	2.8	2.6	2.5	2.3	2.3	0.0
ハンガリー	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	▲12.5
オランダ	3.4	3.3	3.7	3.0	3.3	10.0
オーストリア	5.0	4.9	4.9	5.1	5.0	▲2.0
ポーランド	4.2	4.3	4.4	4.2	4.2	0.0
ポルトガル	1.6	1.5	1.6	1.4	-	-
ルーマニア	0.5	0.8	0.8	0.6	0.6	0.0
スロバキア	2.1	2.4	2.8	2.6	2.6	0.0
フィンランド	2.8	2.8	3.1	3.4	4.1	20.6
スウェーデン	1.5	1.6	1.8	1.6	1.7	6.3
英国	3.2	2.9	3.0	3.2	3.0	▲6.3
EU27カ国	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	0.0

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」  
 注：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTA

ウ 脱脂粉乳

EUの脱脂粉乳生産量は、世界全体の(2011年 約367万トン：USDA資料)の約32.3%を占める世界最大の生産地域である。

2011年の生産量(バターミルクパウダーなどを含む)は、前年比11.0%減の122万1000トンと減少した。一方、消費量は、例年並みの80万8000トンであった。

2011年のEU域外輸出量は、生産量の減少により前年比26.8%減の51万8000トンと大幅に減少した。主な輸出先は、アルジェリアやナイジェリアなどのアフリカや、インドネシアやベトナムなどの東南アジアであるが、最近、中国向けの輸出が大幅に増加している(表6、図6)。

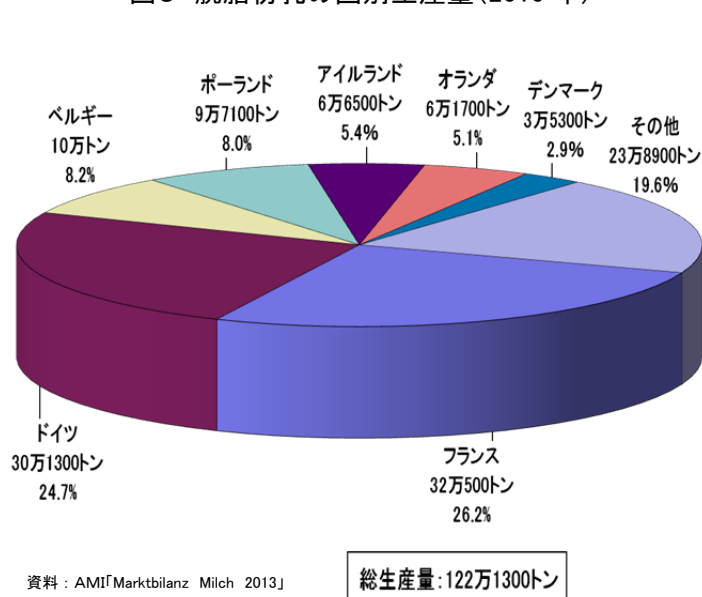
表6 脱脂粉乳需給の推移

(単位:千トン、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
生産量	1,092	1,033	1,160	1,087	1,221	▲11.0
輸入量	10	8	6	4	0	-
輸出量	203	179	231	379	518	▲26.8
介入在庫量(12月末)	-	-	260	195	50	290.0
域内消費量	871	767	795	806	808	▲0.2

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」  
 注：2011年は暫定値

図6 脱脂粉乳の国別生産量(2010年)



資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

エ チーズ

EUのチーズ生産量は、世界の主要生産国（2011年約1694万トン：USDA資料）の約53.0%を占める世界最大の生産地域である。チーズ生産量は、2009年の後半以降、乳価上昇により生乳生産が増加したことや、東欧諸国の消費拡大により域内需要が堅調に推移していること、また、域外輸出が好調であることから増加傾向で推移している（表7）。

表7 チーズ需給の推移 (単位:千トン、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
生産量	8,991	9,075	9,077	9,295	9,296	0.0
うち乳業工場(牛乳原料)	8,230	8,315	8,317	8,535	8,531	▲0.0
農家(牛乳原料)	100	110	110	115	120	4.3
その他(その他原料)	661	650	650	645	645	0.0
輸入量	94	84	84	82	74	▲9.8
輸出量	596	555	578	676	683	1.0
域内消費量	8,774	8,870	8,833	8,936	8,930	0.1
1人当たり消費量(kg)	17.7	17.8	17.7	17.8	17.8	0.0

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：2011年は暫定値

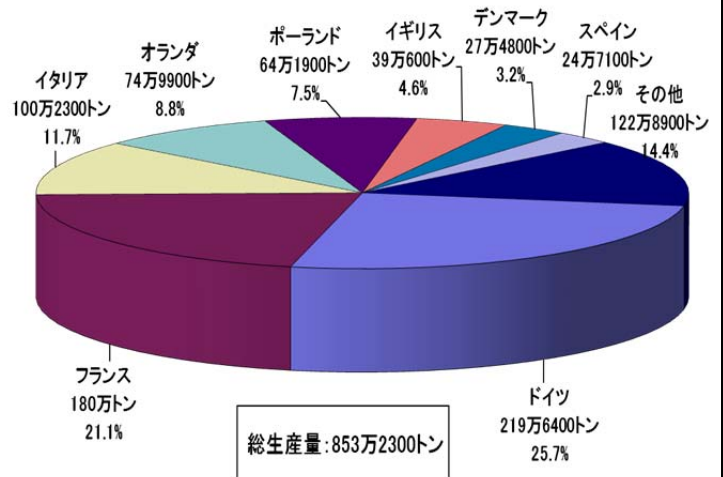
2011年の生産量は、前年と同水準の929万6000トンとなった。このうち主に牛乳を原料として乳業工場で作られるものは853万1000トンとなっている（図7）。2011年のEU域外輸出量は、前年比1.0%増の68万3000トンとなった。主な輸出先はロシア（20万7900トン）、米国（10万9000トン）、スイス（4万9000トン）、日本（4万3900トン）となっている（図8）。

一方、EU域外からの輸入量は、7万3600トンであった。主な輸入先は、スイス（5万トン）、ニュージーランド（1万5500トン）、ノルウェー（2,900トン）となっている。

2011年のチーズ消費量は893万トンで、1人当たりの年間消費量は17.8キログラムであった。チーズの消費量は加盟国間でかなりの差があり、ギリシャ（1人1年当たり30.1キログラム）、フランス（同23.6

キログラム）、ドイツ（同23.3キログラム）などで多く、アイルランド（同6.7キログラム）、ハンガリー（同8.9キログラム）などで少ない（表8）。

図7 チーズの国別生産量(2011年)

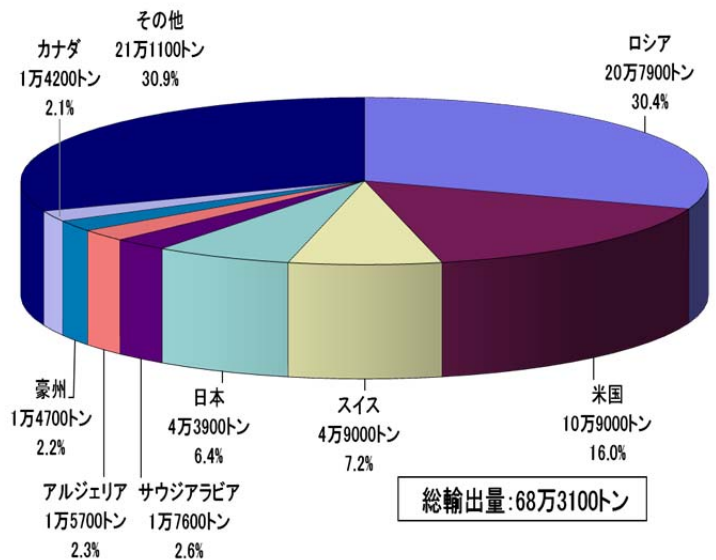


資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注1：主に牛乳を原料として、乳業工場で作られるチーズのみ

注2：2007年までAMI、ZMP調べ、それ以降はEUROSTAT

図8 チーズの輸出先国(2011年)



資料：AMI「Marktbilanz Milch 2012」



表8 1人当たりチーズの消費量の推移

(単位:kg/人、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	21.2	20.7	20.6	20.4	-	-
ブルガリア	6.8	7.1	8.5	7.1	-	-
チェコ	16.7	16.4	16.8	16.6	16.3	▲ 1.8
ドイツ	22.3	22.2	22.3	22.9	23.3	▲ 1.7
ギリシャ	33.4	29.7	31.0	31.8	30.1	▲ 5.3
エストニア	18.8	17.1	18.9	19.6	19.6	0.0
スペイン	7.3	7.5	8.4	9.5	9.6	▲ 1.1
フランス	23.9	23.9	23.9	23.9	23.6	▲ 1.3
アイルランド	7.2	6.2	6.3	7.3	6.7	▲ 8.2
イタリア	21.5	21.6	21.0	21.1	21.8	▲ 3.3
ハンガリー	8.9	9.1	9.0	9.1	8.9	▲ 2.2
オランダ	18.0	19.3	19.0	19.5	19.4	▲ 0.5
オーストリア	19.0	19.4	19.1	19.4	19.9	▲ 2.6
ポーランド	10.7	10.7	10.8	11.3	11.4	▲ 0.9
ポルトガル	10.4	10.1	10.2	9.5	-	-
ルーマニア	19.4	21.5	20.9	19.5	-	-
スロベニア	10.3	9.4	9.3	9.2	-	-
スロバキア	9.8	9.2	9.5	10.0	10.3	▲ 3.0
フィンランド	19.9	19.2	20.9	21.4	22.5	▲ 5.1
スウェーデン	18.1	18.3	18.7	18.9	19.1	▲ 1.1
英国	11.3	11.2	10.9	11.2	10.9	▲ 2.7
EU27カ国	17.7	17.8	17.7	17.8	17.8	0.0

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：2011年は暫定値

④ 生乳および牛乳・乳製品の価格動向

ア 生乳生産者価格

生乳生産者価格は、2007年後半以降の旺盛な国際乳製品需要を受け急騰したが、2008年9月以降、金融危機により急激に需要が減退したことから急落した。

2009年は、前年を24.5%下回る100キログラム当たり25.6ユーロとなった。2011年は、2010年に引き続き国際需要の高まりにより全ての加盟国で大幅に価格が上昇し、前年比11.8%増の33.2ユーロとなった（EU25、表9）。

表9 生乳生産者価格

(単位:ユーロ/100kg、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	32.54	30.99	22.71	29.25	31.89	9.0
デンマーク	37.24	35.54	26.99	31.82	33.82	6.3
ドイツ	33.45	33.83	24.08	30.83	34.83	13.0
ギリシャ	37.37	41.19	36.04	35.90	41.47	15.5
スペイン	35.15	38.06	28.98	29.26	30.88	5.5
フランス	27.96	32.60	26.61	29.17	31.71	8.7
アイルランド	32.52	33.01	22.20	28.92	32.09	11.0
イタリア	36.41	41.47	37.07	37.46	43.38	15.8
オランダ	31.70	33.55	24.35	30.75	34.40	11.9
オーストリア	32.25	37.51	27.69	30.33	34.03	12.2
ポルトガル	32.90	36.22	29.31	28.98	31.42	8.4
フィンランド	35.81	41.49	36.81	36.95	40.29	9.0
スウェーデン	31.47	35.67	26.84	34.71	38.10	9.8
イギリス	30.08	31.59	25.84	27.90	30.60	9.7
EU15カ国	31.90	34.70	26.50	30.50	34.00	11.5
チェコ	29.24	32.95	22.56	28.54	32.63	14.3
エストニア	26.86	29.69	21.06	27.74	32.26	16.3
キプロス	41.45	49.63	51.08	51.26	52.07	1.6
ラトビア	26.14	28.84	18.66	25.11	29.35	16.9
リトアニア	19.90	22.00	15.71	21.69	24.90	14.8
ハンガリー	28.92	32.73	21.87	26.20	31.34	19.6
ポーランド	27.49	28.53	20.20	25.71	28.51	10.9
スロベニア	27.83	32.79	25.99	27.34	31.12	13.8
スロバキア	28.87	32.53	21.08	27.51	31.64	15.0
EU25カ国	31.30	33.90	25.60	29.70	33.20	11.8
ブルガリア	25.01	29.94	25.37	27.62	32.66	18.2
ルーマニア	22.89	23.79	20.68	21.56	24.78	14.9
EU27カ国	-	-	-	-	-	-

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：3.7%脂肪分のもの。ただし、2010年は、4.0%脂肪分が含まれる

※ EUは、2004年にEU10カ国が加盟、2009年にブルガリアとルーマニアが加盟して27カ国となった。

イ 飲用乳小売価格

2011年の飲用乳の価格は、前年と比べて高水準で推移した。一例として、ドイツの価格を見ると、全脂乳（乳脂肪3.5%以上）の小売価格は、前年比4.5%高の1リットル当たり0.93ユーロであった（表10）。

表10 ドイツにおける生乳小売価格の推移

(単位:ユーロ/リットル、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
全脂乳 (乳脂肪1.6%~3.5%)	0.65	0.71	0.57	0.61	0.63	3.3
全脂乳 (乳脂肪3.5%以上)	0.94	0.95	0.89	0.89	0.93	4.5
UHT牛乳 (乳脂肪1.5%)	0.56	0.61	0.48	0.52	0.55	5.8

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

ウ バター卸売価格

2011年のバター卸売価格（工場渡しまたは倉庫渡し）は、2009年の金融危機による需要の減退や、生乳価格の低下に伴う下落から回復を示し、主要生産国の卸売価格は、いずれも前年を上回った（表11）。

表11 主要国のバター卸売価格

（単位：ユーロ/kg、%）

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
フランス	3.25	2.61	2.41	3.34	3.96	18.6
ドイツ	3.43	2.69	2.55	3.46	3.97	14.7
オランダ	3.38	3.62	2.48	3.46	3.94	13.9
イギリス	3.50	2.75	2.62	3.63	4.04	11.2
イタリア	3.45	2.84	2.58	3.34	3.81	14.1
ベルギー	3.39	2.85	2.57	3.38	3.91	15.7

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まれない。

エ 脱脂粉乳卸売価格

2011年の脱脂粉乳卸売価格（工場渡し）は、バター同様、主要生産国の卸売価格は、いずれも前年を上回った（表12）。

表12 主要国の脱脂粉乳卸売価格

（単位：ユーロ/kg、%）

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ドイツ	2.96	1.90	1.54	1.99	2.17	9.0
フランス	3.29	2.21	1.80	2.18	2.44	11.9
オランダ	3.17	2.12	1.76	2.17	2.39	10.1
ベルギー	3.24	2.26	1.83	2.21	2.45	10.9

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まれない

オ チーズ卸売価格

2011年のチーズ卸売価格（工場渡し）は、そのほかの品目と同様に需要が回復したことにより、ドイツのエメンタールやイギリスのチェダーなどの卸売価格は、前年を上回った（表13）。

表13 主要国のチーズ卸売価格

（単位：ユーロ/kg、%）

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ドイツ エメンタール45%	4.56	5.19	4.63	4.80	5.01	4.4
英国 チェダー	3.67	3.64	2.93	3.26	3.42	4.9
フランス エメンタール45%	4.31	4.93	-	-	-	-
コンテ	5.50	5.90	6.33	-	-	-
ポーランド エメンタール	3.17	3.55	2.77	3.31	3.44	3.9

資料：AMI「Marktbilanz Milch 2013」

注：工場渡しの価格で付加価値税は含まれない。

## (2) 肉牛・牛肉産業

2011年のEU（加盟国27カ国）の牛肉生産量は、世界の牛肉生産量（約6281万トン：FAO）の約12.8%を占めている。EUは気候・地理・歴史的条件が異なるため、多種多様な品種の牛（肉用種、乳用種、乳肉兼用種）が飼養されており、牛肉の生産構造や生産する牛のタイプ（子牛、経産牛、去勢牛、雄牛など）は、国によってかなり異なっている。EUの牛肉自給率は、2001年までは100%を超えていたが、2001年のBSE問題の再燃により生産量が消費量を下回り、2003年以降、牛肉の純輸入地域となった。その後、BSE管理の徹底が図られ、さらに2010年以降はユーロ安に支えられ、輸出量は再び増加に転じたことで、2010年に純輸出地域となった。

2011年の主な動向は、引き続き飼養頭数が減少した。牛肉の貿易は、EUは2010年と同様に純輸出国を維持した。主な輸出先はロシアおよびトルコである。トルコへの輸出は、2010年末に緊急関税引き下げが終了し、2011年7月より75%の関税が設定されたため、牛肉から生体牛輸出へと移行した。また、輸入量は、前年比10%減となった。これは、主な輸入先である南米およびアフリカにおける生産量の減少とボツワナからの輸入禁止が要因である。米国および豪州からの輸入は、無関税枠の高級牛肉枠を利用した輸入が引き続き増加した。

### ① 主な政策

#### ア 介入買い入れ

EUは、域内の牛肉価格が下落した場合、加盟国の介入機関を通じて、一定基準を満たす牛肉を買い入れ、市場から隔離することにより、価格支持を行っている。

枝肉のEU平均市場価格が、2週間にわたってトン当たり1,560ユーロを下回る場合、介入買い入れが行われる。

#### イ 民間在庫補助

EU市場で、R3（形態および脂肪のそれぞれについて中間に位置する。）に格付けされた雄牛の枝肉基本価格を100キログラム当たり222.4ユーロと定め、EU平均市場価格が基本枝肉価格の103%を下回り、それが継続する可能性がある場合、一定量の牛肉を一定期間、自己負担により在庫として保管する業者に対し助成が行われる。

#### ウ 直接支払い

2000年度からの介入価格の引き下げにより減少した農業所得を補償するため、繁殖雌牛奨励金などの奨励金について、単価が引き上げられたほか、2000年には新たに畜奨励金が新設された。

なお、2003年のCAP改革により、これらの生産にリンクした直接支払いは、原則、生産とはリンクしない直接支払い（デカップリング）へと統合された。ただし、加盟国は、これらの生産と結びついた直接支払いについてもデカップリングと併せて継続することが可能となっている。

#### (ア) 繁殖雌牛奨励金 (Suckler cow premium)

繁殖雌牛を飼養する肉用牛生産者（生乳出荷量がゼロまたは生乳生産枠（クォータ）が120トン以下の生産者）に対し、2013年までの運用として、1頭当たり200ユーロの奨励金が交付される。

#### (イ) 特別奨励金 (Beef special premium)

雄牛や去勢牛を飼養する生産者に対し、去勢牛の生存中に2回（9カ月齢および21カ月齢（雄牛は1回のみ））まで、各農家90頭を限度として、去勢牛1

頭当たり150ユーロ、雄牛1頭当たり210ユーロの奨励金が交付される。

(ウ) と畜奨励金 (Slaughter premium)

牛を一定期間飼養後、と畜または域外に輸出した生産者に対し、8カ月齢以上の牛1頭当たり80ユーロ、1カ月齢超8カ月齢未満の子牛1頭当たり50ユーロの奨励金が交付される。

エ 輸出補助金

EU産牛肉の国際競争力を維持し、輸出を促進するため、輸出補助金が交付されている。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定される。

オ BSE関連対策

動物性たんぱく質の飼料利用全面禁止、食肉に供される牛からの特定危険部位の除去などのBSE撲滅対策、講じられる対策の有効性を検証するための30カ月齢超の食用向けの健康な牛に対するBSEモニタリング検査などが実施されている。2009年1月1日より、検査月齢を30カ月齢超から48カ月齢超に変更することが可能となった。また、2011年7月より、ブルガリアおよびルーマニアを除く25カ国で、検査月齢が48カ月齢超から72カ月齢超に変更された。

② 肉牛の生産動向

ア 牛飼養経営体数

2007年の牛飼養経営体数（乳牛飼養を含む）は333万4000戸で、2005年のEU27カ国ベースの参考データ（375万7000戸）に比べ11.3%減となっており、大規模化による効率化が進んでいる。

牛飼養経営体数は、2007年のEU全農業経営体数（1370万戸）の24%を占めていることから、EU全農業経営体の約4分の1は何らかの形で牛を飼養していることになる。牛飼養経営体数の多い国は、ルーマニア（106万8000戸）、ポーランド（71万8000戸）、フランス（22万戸）、ドイツ（17万戸）、イタリア（14万7000戸）である（表14）。

表14 牛(乳牛を含む)飼養経営体数、飼養頭数および1戸当たりの飼養頭数の推移

(単位:千戸、千頭、頭)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
牛飼養経営体数	3,334					—
飼養頭数	89,037	89,236	88,683	86,636	86,231	▲ 0.5
1戸当たり飼養頭数	26.8					—

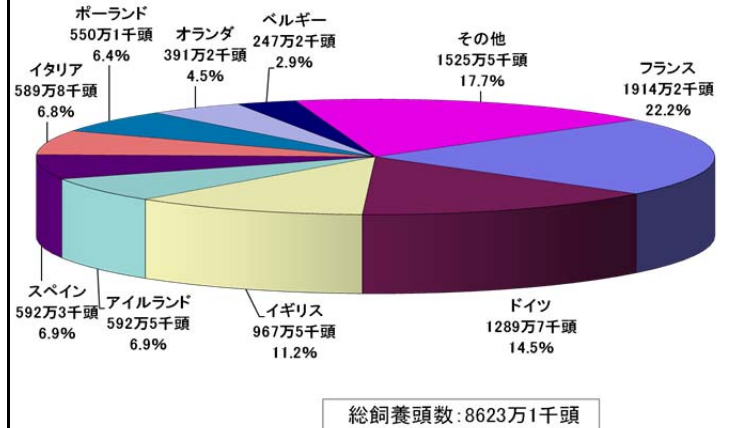
資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

注：飼養頭数は、12月現在のもの。牛飼養経営対策及び1戸当たり飼養数は、2007年以降更新なし

イ 飼養頭数

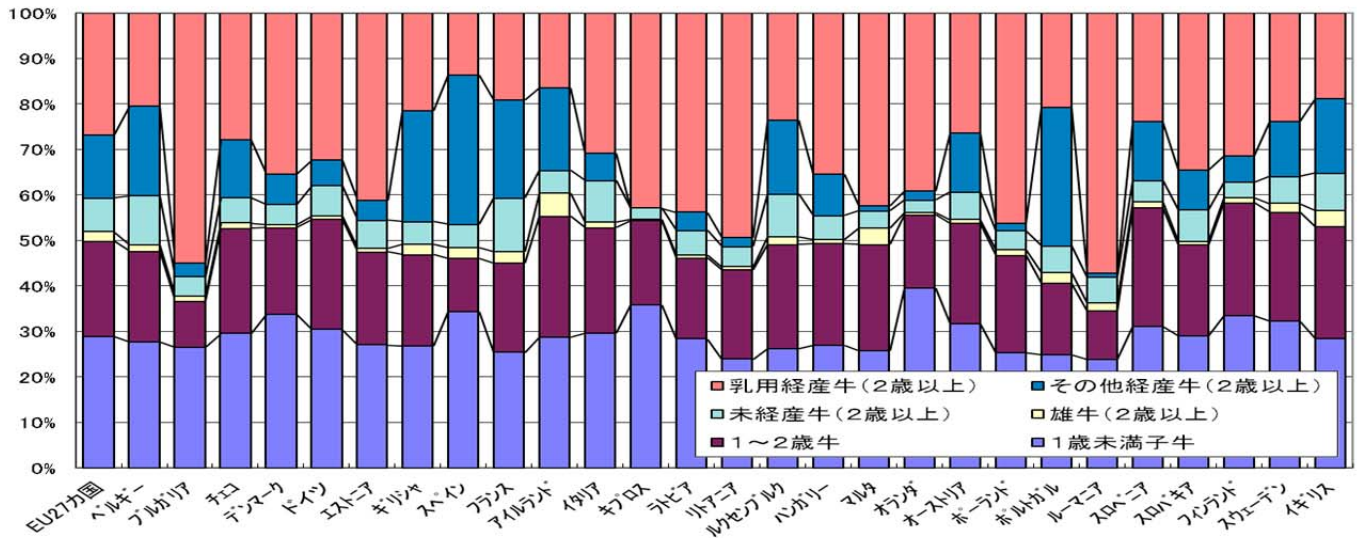
2011年12月現在の牛飼養頭数は、前年比0.5%減の8623万1000頭(乳用経産牛を含む)であった。2007年の牛の1戸当たりの飼養頭数は26.8頭で、2005年のEU27カ国ベースの参考データと比較して1.8頭増加している。1戸当たりの飼養頭数の多い国は、キプロス(201.6頭)、ルクセンブルク(129.7頭)、オランダ(106.7頭)、チェコ(101.6頭)、デンマーク(100.3頭)である。一方、飼養頭数の少ない国は、ルーマニアの2.6頭、ブルガリアの4.5頭、リトアニアの5.9頭となっており、加盟国間で差が大きい(図9、10)。

図9 国別牛飼養頭数(2011年12月)



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2012」

図10 国別タイプ別牛飼養割合



資料：EUROSTAT「Structure of agricultural holdings」

③ 牛肉の需給動向

ア 牛と畜頭数および牛肉生産量

2011年の牛と畜頭数は、2343万6000頭であった。国別に見ると、フランス(470万8000頭)、ドイツ(316万8000頭)、イタリア(297万5000頭)、英国(205万2000頭)、アイルランド(123万7000頭)の順に多く、これら5カ国でEUの全と畜頭数の約6割を占めている。

また、2011年の牛肉生産量は768万9000トン(枝肉換算)となった(表15)。

1頭当たりの平均枝肉重量は、成牛で336.6キログラム(概算値)、子牛は157.7キログラムであった(表16)。



表 15 牛肉需給の推移(枝肉計算)

(単位:千トン、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
生産量	8,102	8,022	7,657	7,802	7,689	1.0
輸入量	544	391	421	370	315	0.9
輸出量	117	166	178	391	510	1.3
消費量	8,631	8,297	7,960	7,896	7,649	1.0
介入在庫(12月末)	0	0	0	0	0	-
1人当たり消費量(kg)	16.4	16.1	15.3	15.6	15.3	1.0
自給率(%)	95.1	97.3	96.9	100.3	102.6	1.0

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

注：輸出入量は、生体牛を除く

表 16 成牛1頭当たり平均枝肉重量

(単位:kg、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	441.3	432.1	437.4	428.2	419.2	▲ 2.1
ブルガリア	559.6	160.3	230.9	220.8	227.3	2.9
チェコ	305.9	306.0	300.6	306.0	305.8	▲ 0.1
デンマーク	261.1	261.2	286.0	286.5	278.8	▲ 2.7
ドイツ	343.8	337.7	337.9	342.5	343.4	0.3
エストニア	245.5	244.1	247.0	248.6	246.2	▲ 1.0
アイルランド	345.9	340.5	339.5	344.4	351.2	2.0
ギリシャ	262.6	257.6	235.7	256.5	258.9	0.9
スペイン	286.3	287.6	290.0	299.7	298.8	▲ 0.3
フランス	379.8	374.1	369.7	373.0	371.8	▲ 0.3
イタリア	334.6	330.4	327.0	330.0	333.0	0.9
キプロス	227.0	228.1	312.3	329.8	350.8	6.4
ラトビア	220.7	218.1	223.2	219.8	221.4	0.7
リトアニア	240.6	240.6	251.4	253.4	252.5	▲ 0.4
ルクセンブルグ	381.8	374.5	376.3	381.4	386.0	1.2
ハンガリー	271.9	266.1	271.4	268.5	269.5	0.4
マルタ	301.1	276.0	266.5	265.5	271.0	2.1
オランダ	312.3	306.4	307.7	310.7	309.4	▲ 0.4
オーストリア	360.9	358.4	356.3	356.9	357.2	0.1
ポーランド	278.0	280.1	283.4	292.6	285.1	▲ 2.6
ポルトガル	292.8	299.1	286.4	284.4	283.5	▲ 0.3
ルーマニア	174.6	179.3	230.4	235.6	240.9	2.2
スロベニア	336.9	336.9	336.9	341.4	338.1	▲ 1.0
スロバキア	275.4	270.2	273.7	275.5	272.3	▲ 1.2
フィンランド	309.2	311.9	314.4	321.9	320.6	▲ 0.4
スウェーデン	312.1	314.5	319.2	319.0	314.6	▲ 1.4
英国	347.0	342.3	346.3	350.0	345.5	▲ 1.3
EU27カ国	330.1	332.4	332.7	337.5	336.6	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

注：2011年のEU27カ国平均は、ALICで試算

イ 輸入および輸出

輸入は、ガット・ウルグアイラウンド合意に基づき、さまざまな関税割当や近隣国との特惠制度が設けられている。2011年のEU域外からの輸入量は31万

5000トン(枝肉換算)となった。主な輸入先は、ブラジル、アルゼンチンなどである。

輸出は、2001年のBSE問題の再燃や2002年2月の口蹄疫(FMD)の発生により、多くの国で一時的にEU産牛肉の輸入禁止措置が講じられたことで域内の牛肉生産量が減少傾向となっていたものの、2011年のEU域外への輸出量は主にトルコやロシア向けが増加したことから51万トン(枝肉換算、前年比130%増)と前年から大幅に増加した。

ウ 消費

2000年11月にドイツ、スペインで初のBSE発症例の確認などにより、牛肉の安全性に対する疑念が消費者に広がり、2001年の消費量はやや落ち込んだ。各種のBSE対策により2002年以降回復し、1999年の水準(749万9000トン)を超えて推移した。域内生産量の減少による価格の上昇などから、2008年は以降減少傾向となり、2010年は前年比0.1%減の801万2000トンとなった。

1人当たりの年間牛肉消費量については、BSE問題により2001年は落ち込んだが、2003年には2001年の水準から1.9キログラム増の20.2キログラムと回復した。しかし、2004年に新たに加盟した国の牛肉消費量が多くなかったことから、2004年のEU25カ国の1人当たり年間消費量は18.0キログラムと、2003年のEU15カ国(20.2キログラム)と比べて減少し、以降ほぼ横ばいとなった。EU27カ国となった2007年以降も大きな変動はないものの減少傾向となっており、2011年の1人当たり年間牛肉消費量は15.3キログラムと前年よりわずかに減少した。

エ 介入在庫

1996年、1997年に、BSE問題の影響による価格下落に伴い介入買い入れが実施されたことにより、介入在庫は急激に増加したが、1998年末の50万4000トンピークに減少し、2000年末にはわずか2000トンとなった。しかし、2001年のBSE問題の再燃により、牛肉価格が落ち込んだため、通常介入だけでなくセーフティーネット介入も実施された。また、従来、介入買い上げの対象となっていなかった経産牛を買上対象とした特別買い上げも実施された結果、2001年末の

介入在庫は22万2000トンに達した。その後消費の回復により、在庫は減少し、2004年以降ゼロとなっている。

④ 肉牛・牛肉の価格動向

ア 枝肉卸売価格

2011年の枝肉卸売価格は、域内生産量の減少などを受け雄牛で前年比9.7%高、去勢牛で同13.3%高と前年をかなり上回り堅調に推移した（表17）。

表17 牛枝肉卸売価格の推移

(単位: ユーロ/100kg)

区分 年	牛枝肉卸売価格			
	雄牛		去勢牛	
		前年比(%)		前年比(%)
2008	322.7	104.6	328.3	112.0
2009	316.4	98.1	308.6	94.0
2010	319.8	101.1	311.1	100.8
2011	350.7	109.7	352.3	113.3
備考	R2とR3グレードのEU加重平均		R3とR4グレードのEU加重平均	

資料：欧州委員会

(3) 養豚・豚肉産業

2011年のEUの豚肉生産量は前年比1.7%増の2669万6000トンと、世界の豚肉生産量（約1億864万トン：FAO）の約2割を占めている。EUは、豚肉自給率が110.9%の純輸出地域である。なかでも、デンマークはわが国の主要な豚肉輸入先であり、EU全体の輸出量の約2割を占める。EUでは、加盟国間で差があるものの、食肉消費量に占める割合は豚肉が最も大きい。

① 主な政策

ア 民間在庫補助

EUは、域内の豚肉価格が低迷した場合、特定の豚肉を一定期間、自己負担により在庫として保管する業者に対し、保管経費を交付する。2011年は、1月にドイツで豚用飼料へのダイオキシン混入が発覚したことを受け、同年2月1日から22日まで民間在庫補助が発動した。この結果、ドイツ（約4万1000トン）、スペイン（約2万8000トン）、オランダ（約1万4000トン）などEU全体で14万トン強の在庫が市場から隔離された。

## イ 輸出補助金

EUは、EU産豚肉および加工品の国際競争力を高め、輸出を促進するため、輸出補助金を交付している。輸出補助金の単価は、域内の市場価格と国際価格との差に基づき、品目ごと、輸出先ごとに設定する。

なお、2007年11月以降措置していた輸出補助金は、安定した輸出が継続していることもあり、2008年8月以降停止している。

## ② 肉豚の生産動向

### ア 養豚経営体数

2010年のEU27カ国における養豚経営体数は288万戸と、2007年（352万1000戸）と比較して10.1%減少した。新規加盟国を中心に、2008年の豚肉価格の低迷と飼料、燃料価格の高騰を受け、小規模農家の廃業が進んだとみられる。なお、全農業経営体数（1201万戸、2010年）に占める養豚経営体数の割合は29%である（表18）。国別では、ルーマニア（165万6000戸）、ポーランド（28万8000戸）、ハンガリー（18万3000戸）、ブルガリア（8万2000戸）、スペイン（7万戸）が上位となっている。

表18 養豚経営体数、飼養頭数および  
1戸当たり飼養頭数の推移（EU27カ国）

（単位：千戸、千頭、頭）

区分／年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
養豚経営体数	3,521	-	-	2,878	-	-
飼養頭数	160,039	159,965	152,988	151,569	151,130	▲ 0.3
1戸当たり飼養頭数	44.2	-	-	52.7	-	-

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2012」

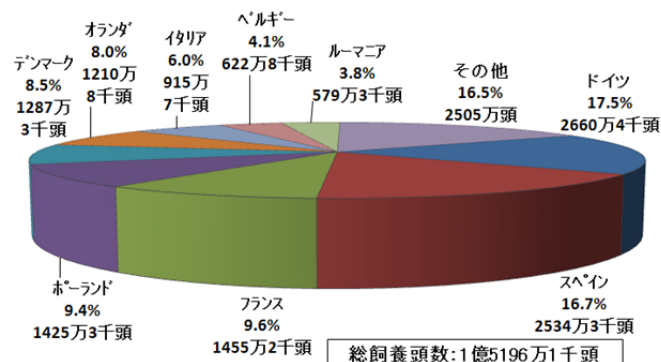
注：飼養頭数は、12月現在のもの

## イ 飼養頭数

2010年12月現在の豚飼養頭数は、前年比0.3%減の1億5113万頭となった。

1戸当たりの飼養頭数をみると、2010年は52.7頭と、2007年の44.2頭から8.5頭増加している。国別では、デンマーク2634.6頭、オランダ1750.6頭、アイルランド1516.0頭と、1000頭を超える国もある一方、ルーマニア3.2頭、ブルガリア8.2頭と、加盟国間で大きな差がみられる（図11）。

図11 国別総飼養頭数（2011年12月）



資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2012」

### ③ 豚肉の需給動向

#### ア と畜頭数と豚肉生産量

2011年の豚と畜頭数は、前年比1.7%増の2億5264万頭となり、豚肉生産量は同1.7%増の2238万8000トン（枝肉ベース）となった。1頭当たりの平均枝肉重量は、前年並みの89キログラムであった（表19）。

表19 豚1頭当たり平均枝肉重量

（単位：kg、%）

国／年	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	95	97	94	94	0.0
ブルガリア	48	70	68	67	▲1.5
チェコ	88	88	89	88	▲1.1
デンマーク	82	82	83	82	▲1.2
ドイツ	93	93	94	94	0.0
エストニア	80	80	78	79	1.3
アイルランド	79	81	81	80	▲1.2
ギリシャ	62	63	62	63	1.6
スペイン	84	82	82	83	1.2
フランス	88	80	81	81	0.0
イタリア	118	125	126	127	0.8
キプロス	82	80	78	78	0.0
ラトビア	78	76	74	75	1.4
リトアニア	81	77	78	78	0.0
ルクセンブルグ	66	72	71	72	1.4
ハンガリー	92	90	90	90	0.0
マルタ	83	82	82	87	6.1
オランダ	91	92	92	92	0.0
オーストリア	95	96	95	97	2.1
ポーランド	85	86	87	86	▲1.1
ポルトガル	64	63	64	65	1.6
ルーマニア	80	77	81	81	0.0
スロベニア	82	83	86	84	▲2.3
スロバキア	94	90	90	89	▲1.1
フィンランド	88	88	90	89	▲1.1
スウェーデン	88	88	90	90	0.0
英国	78	80	80	80	0.0
EU27カ国	89	88	89	89	0.0

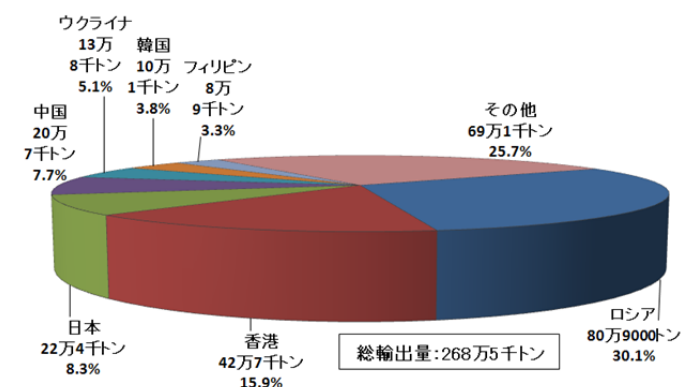
資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union - Statistical and economic information 2012」

#### イ 輸入および輸出

2011年のEU域外からの輸入量（枝肉ベース）は、前年比31.2%減の1万5000トンとなった。

一方、同年のEU域外への輸出量（同）は同18.2%増の217万4000トンとなった。増加の要因は、ユーロの為替レート低下により、国際市場におけるEU産豚肉の相対的な競争力が向上したことが挙げられる。EUの豚肉輸出の4分の1を占めるロシア向けは前年比8%減であったものの、中国に対し同2.8倍と大幅に増加した。日本向けも同3%増となったものの、中国は日本を上回るEU産豚肉の輸入先となった（図12）。

図12 豚肉の輸出相手国(2011年)



資料：Danish Agriculture & Food Council 「Statistics on the pig industry 2012」

注1：製品重量ベース

注2：生体、内臓肉、調製品等を含む

#### ウ 消費

2011年の消費量は前年とほぼ横ばいの2039万2000トン（枝肉ベース）となった。同年における1人当たり年間豚肉消費量は、前年から0.2キログラム減少の40.7キログラムとなった（表20）。

表 20 豚肉需給の推移(EU27 力国、枝肉ベース)

(単位:千トン、%)

区分/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
生産量	22,858	22,596	21,449	22,219	22,551	1.5
輸入量	29	50	34	22	15	▲ 31.8
輸出量	1,426	1,872	1,657	1,839	2,174	18.2
消費量	21,364	20,872	19,826	20,402	20,392	▲ 0.0
1人当たり消費量(kg)	43.3	42.1	39.9	40.9	40.7	▲ 0.4
自給率(%)	107.1	108.6	108.8	109.3	110.9	1.5

資料：欧州委員会「Agriculture in the European Union – Statistical and economic information 2012」

注：「生産量」は、加工等に伴う損耗を考慮した数値

#### ④ 豚肉の価格動向（豚肉の市場価格）

豚枝肉市場価格は、加盟国の代表的な市場における豚枝肉の加重平均価格をベースとして算出される。

2011年の豚枝肉市場価格は、前年比9.2%高の100キログラム当たり153.19ユーロであった。生産量はわずかに増加したものの、ユーロ安により域外輸出の堅調に増加が影響したとみられる（表21）。

表 21 豚枝肉市場価格(EU27 力国)の推移

(単位:ユーロ/100kg、%)

国/年	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ベルギー	129.17	145.35	133.24	130.25	141.29	8.5
ブルガリア	171.29	176.83	174.52	163.53	168.72	3.2
チェコ	138.56	163.19	149.96	142.09	156.22	10.0
デンマーク	117.70	130.50	122.87	126.31	138.92	10.0
ドイツ	139.08	160.67	146.03	144.37	155.73	7.9
エストニア	141.38	156.08	149.80	142.53	156.30	9.7
ギリシャ	161.75	184.46	172.98	160.87	172.54	7.3
スペイン	139.14	151.46	145.17	145.70	159.75	9.6
フランス	127.75	142.10	131.07	129.91	146.57	12.8
アイルランド	132.57	144.31	131.60	130.63	142.79	9.3
イタリア	144.16	165.83	151.93	150.23	172.69	15.0
キプロス	149.69	154.36	153.02	161.93	169.77	4.8
ラトビア	148.97	170.84	155.29	143.36	161.80	12.9
リトアニア	140.71	169.75	156.78	145.37	153.98	5.9
ルクセンブルグ	139.99	161.30	147.32	146.21	156.74	7.2
ハンガリー	136.64	160.42	149.46	141.21	154.07	9.1
マルタ	152.46	161.72	182.00	182.00	181.36	▲ 0.4
オランダ	123.64	142.94	130.40	128.79	140.78	9.3
オーストリア	137.82	155.13	138.39	137.79	151.21	9.7
ポーランド	128.37	158.32	143.69	134.91	151.46	12.3
ポルトガル	147.33	156.72	151.96	153.21	161.32	5.3
ルーマニア	151.09	173.05	158.13	153.41	158.64	3.4
スロベニア	136.55	150.16	137.78	136.85	151.03	10.4
スロバキア	139.19	167.92	153.36	145.77	158.78	8.9
フィンランド	138.29	150.20	144.74	141.67	149.86	5.8
スウェーデン	144.03	152.05	137.84	145.76	148.40	1.8
英国	152.95	154.14	159.42	160.42	161.96	1.0
EU27力国	135.17	153.26	142.22	140.24	153.19	9.2

資料：AMI「MARKT Bilanz VIEH UND FLEISCH 2012」